

公益社団法人日本地球惑星科学連合
平成 26 年度第 6 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 26 年 10 月 24 日 (土)
午前 9 時 30 分から午後 12 時 30 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 7 階 710 号室
(東京都文区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 12 名 (定足数 11 名 会議成立)
オブザーバー 9 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員
理事 津田 敏隆
理事 川幡 穂高
理事 木村 学
理事 中村 正人
理事 北 和之 (teleOffice 出席)
理事 高橋 幸弘
理事 瀧上 豊
理事 田中 賢治
理事 成瀬 元
理事 浜野 洋三
理事 古村 孝志
理事 村山 泰啓
監事 鈴木 善和
監事 松浦 充宏
6. 出席オブザーバー
宇宙惑星科学セクションプレジデント 佐々木 晶
大気水圏科学セクションプレジデント 中島 映至
固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治 (teleOffice 出席)
地球生命科学セクションプレジデント 小林 憲正

大気水圏科学セクション幹事 川合 義美
地球人間圏科学セクション幹事 島津 弘
学協会長会議議長 田近 英一
グローバル戦略委員会委員 末広 潔

午後 13 時 30 分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、理事会が成立することを宣言した。ウェブ会議システム TeleOffice を利用し、東京大学理学部 1 号館と東北大学、および茨城大学とで同時に会議に参加できるようにし、審議を確実に行うことができることを三者で確認した。続いて、以下の議事について、逐次審議に入った。

7. 報告事項

(1) 委員会・セクション活動報告

(1-1) 瀧上 豊理事 職務報告 教育検討委員会活動報告 資料 P. 1-5

第 8 回国際地学オリンピック・スペイン大会についての報告があった。日本チームの成績は金メダル 3 個、銅メダル 1 個の過去最高の成績となった。

第 10 回日本大会について、寄付金（協賛金）の募集を受け付けている。連合からの支援の要請もあった。可能な場合は 3 月までに表明してほしい。

教育課程小委員会で高校理科「地学基礎」に関するアンケート調査を検討している旨報告があった。

理数系学会教育問題連絡会シンポジウム実行委員会主催によるシンポジウム「これからの理数系教育を考える」を 10 月 26 日（日）に開催予定である。本シンポジウムは連合も共同主催となっている。

地学教育小委員会について、これを解消することを検討している。

(1-2) 古村孝志理事 職務報告 総務委員会活動報告 資料 P. 6-7

内閣府公益認定等委員会事務局より、当連合の社員（代議員）選出に関して以下の 2 点の指摘があったことが報告された。

1. 当連合の社員（代議員）は、正会員により選出された代議員（選出代議員）と団体会員（加盟学協会）の代表（団体代議員）により構成されるが、正会員によっては、自身が加盟する学協会の代表の選出を通じて二重に連合の意志決定に参画できることになり、公平性に欠けるのではないか。
2. 選出代議員に比べて、団体代議員の適正を将来にわたって保証する制度設計が不十分ではないか。

またこれに対し WG により検討を進めていることが報告された。1 に関しては、当連合の「学協会との共存共栄」の方針に変わりはなく、認定法に則りながら現状の社員体制を継

続できるよう方策を検討中である.2 については、今後の団体会員の入会基準を厳格化する方向で対応を検討中である。

連合が用いる各用語の英語対応表を準備していることの報告があった。

(1-3) 川幡 穂高理事 職務報告 ジャーナル企画経営委員会活動報告 資料 P. 8-9

ジャーナル「Progress in Earth and Planetary Science」関連の報告があった。現在の編集・出版状況について報告があった。

システム関連では、投稿・査読システムが新システム Editorial Manager へ以降したこと、Cross Check を実施し剽窃対策を導入したことが報告された。

企画経営関連では、ジャーナル特別セッションの募集中であること、トムソンロイター Web of Science への登録申請を準備中であること、国立図書館への献本を実施したことが報告された。

(1-4) 中村 正人理事 職務報告 男女共同参画委員会活動報告 資料 P. 10-11

10月4日(土)に実施された第12回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムについて報告があった。

(1-5) 中村 正人理事, 成瀬 元理事 職務報告 褒賞関連活動報告 資料 P. 12-22

褒賞関連の各活動について、以下のように報告があった。

2015年度公益社団法人日本地球惑星科学連合フェロー、2014年度地球惑星科学振興西田賞について、それぞれ候補者募集を受付中である。

とうきゅう環境財団社会貢献学術賞について、連合より推薦した吉野正敏教授が受賞者に決定した。

日立環境財団より、環境賞の受賞候補者の推薦について案内があった。セクション毎に推薦を募り、褒賞関連理事が取りまとめ、連合としての推薦者を決定する。

(1-6) 中島映至プレジデント報告 大気水圏科学セクション活動報告 別添資料

衛星地球観測計画に対する対応について報告があった。地球観測の将来構想について、第22期日本学術会議では地球観測の将来構想に関する検討小委員会が設置された。地球観測タスクフォースコミュニティ(TF)幹事会により、6月18日に提言「地球観測に関する緊急提言」が示された。地球観測タスクフォース地球科学研究高度化ワーキンググループが発足した。今後、大気水圏科学セクションが中心となって対応し、連合全体としてこの問題を検討してゆく。

(2) 津田 敏隆理事 職務報告 寄付金受領関連報告 資料 P. 23-24

西田篤弘会員からの寄附について、寄附申込書を受領したこと、また寄附受諾書を手渡

したことの報告があった。

(3) 木村 学理事, 佐々木 晶プレジデント職務報告 日本学術会議関連報告 資料 P. 25-45
10月1日より発足した第23期日本学術会議について, 会員および連携会員について紹介があった。また, 9月27日の22期日本学術会議地球惑星科学委員会社会貢献分科会による記録, 地球に生きる素養を身につける「地球を好きになる教育の勧め」について紹介があった。この中で「地球・惑星検定」の検討について紹介があり, 連合がこの事業を引き受けることについて検討した。今後は木村理事, 北里監事が中心となり, 公益法人認定との兼ね合いや, 財務面, サービス面などに留意しながら検討してゆくとした。

(4) 田近 英一学協会議議長報告 第11回学協会長会議報告 資料 P. 46
10月16日(木)に実施された第11回学協会長会議について報告があった。連合の活動報告, 日本学術会議の近況報告が主な内容であった。

既に総務委員会より報告のあった, 内閣府公益認定等委員会事務局からの指摘についても報告した。

昨年の連合大会では日本学術会議の発案, 連合環境災害対応委員会の主催によりユニオンセッション「連合は環境・災害にどう向き合っていくのか?」を開催したが, 今回も同様のセッションの提案を検討した。学協会長会議後, 環境災害対応委員会が本件についてセッションを提案したことが環境災害対応委員長田中理事より報告された。

8. 審議事項

第1号議案 会員(正会員)および賛助会員入会承認の件(古村 孝志理事) 資料 P.47-49
定款第8条2項の会員の入会の定めに従い, 新規入会者および賛助会員(株式会社フォルテ)の入会を承認した。

第2号議案 委員追加承認の件(古村 孝志理事) 資料 P. 50
竹村 貴人会員, 井口 隆会員, 宮地 良典会員, 卜部厚志会員の計4名を, 環境災害対応委員会の委員として承認した。

第3号議案 ユニオンサイエンスボードメンバー追加の件(津田 敏孝会長) 資料 P. 51
大久保 修平会員, 高橋 桂子会員, 中村 尚会員, 藤井 良一会員, 川口 淳一郎会員の計5名を, ユニオンサイエンスボードメンバーとして承認した。

第4号議案 顕彰委員会設置の件(中村 正人理事) 資料 P.52-53
顕彰委員会の設置を承認した。顕彰委員会規則を承認し, それに伴って法人運営規則第9

章第 16 条に、「(13)顕彰委員会」を追加した。顕彰委員会担当理事は中村 正人理事，副担当は成瀬 元理事とした。

第 5 号議案 地球惑星科学振興西田賞審査委員会設置規則変更の件 (中村 正人理事)
資料 P.54

地球惑星科学振興西田賞審査委員会の選任基準について (内規) を承認した。

第 6 号議案 地球惑星科学振興西田賞審査委員承認の件 (中村 正人理事) 資料 P.55

地球惑星科学振興西田賞審査委員会委員候補者を承認した。ただし地球惑星科学振興西田賞審査委員会設置規則第 6 条に基づき，委員の氏名を公表するのは受賞者が決定した時点とするため，本議事録には氏名を記さない。

第 7 号議案 広報普及委員会正副委員長変更の件 (成瀬 元理事) 資料 P.56

広報普及委員会の委員長を成瀬 元理事から田近 英一委員に，また副委員長を道林 克禎理事から原 辰彦委員に変更することを承認した。

第 8 号議案 来年度の予算編成について (北 和之理事) 資料 P.57-58

今年度予算に比べ支出が多くなり，決算は赤字見通しであることが報告された。次年度予算編成に当たっては，予算にない支出は基本的にはないよう慎重な検討を行いゆとりのある予算編成が必要なため，その旨セッション・委員会への協力要請があった。

第 9 号議案 今後の連合大会の方針の件 資料 P.59-65

・浜野 洋三理事 職務報告

2015 年連合大会の準備状況について報告があった。前日 10 月 23 日にセッション提案を締め切った。締切の段階で 189 件のセッション提案があり，ほぼ平年並みの提案であった。

・木村 学理事 職務報告

2017 年連合大会の AGU との共催に向け，グローバル委員会木村理事から準備報告があった。12 月 AGU 大会において AGU 首脳部との会談を行う。また，末広潔会員が国際化アドバイザーとして正式に着任した。

・今後の連合大会の方針について

今後の連合大会の方針について議論した。2016 年大会の会場を幕張メッセに決定した。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ，閉会を宣した。(午後 13 時 30 分)
以上の議事の要領及び結果を明確にするため，本議事録を作成し，出席理事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成 26 年 10 月 24 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 6 回理事会

出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	瀧上	豊	印
出席理事	田中	賢治	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	村山	泰啓	印